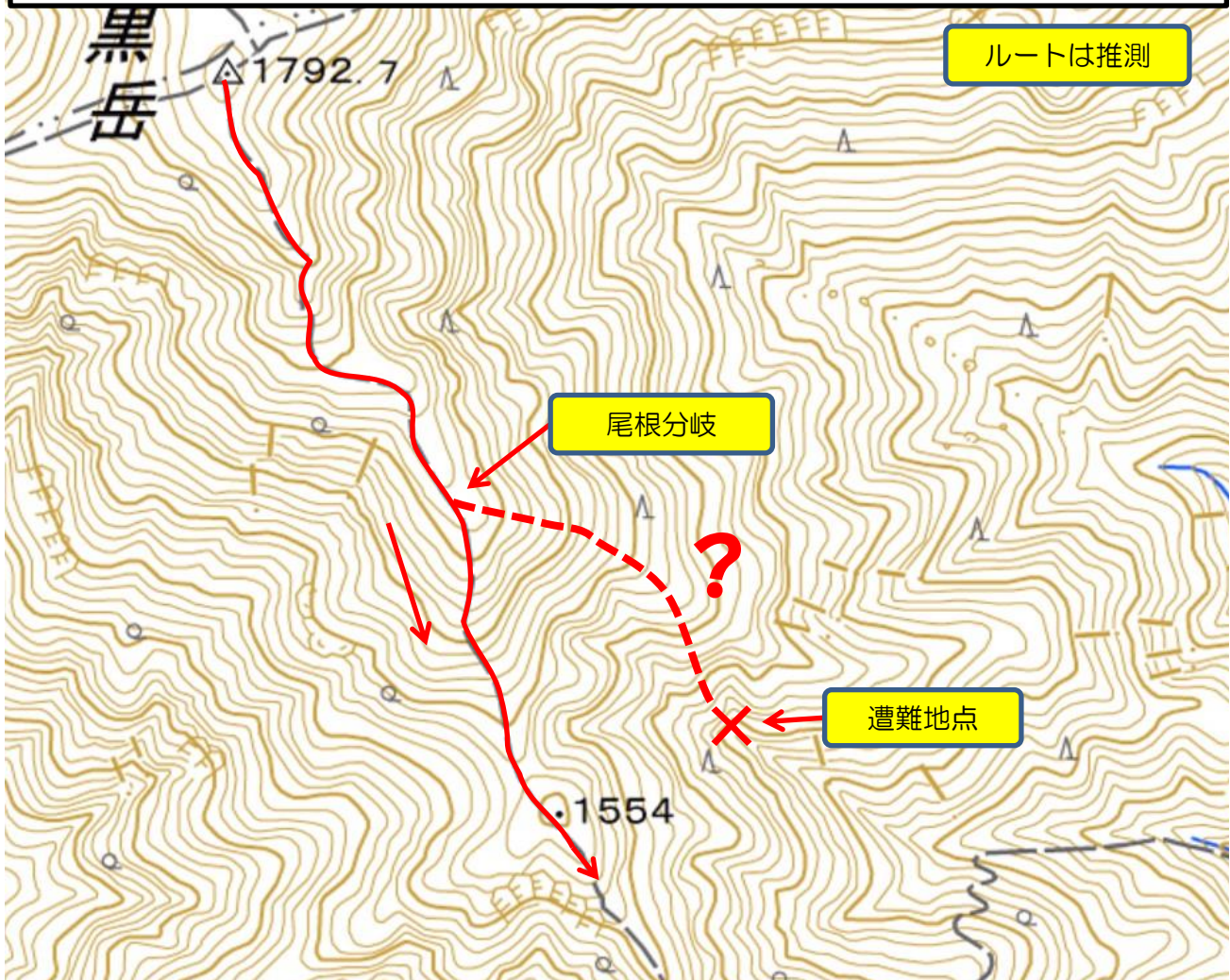


黒岳遭難(2019年9月)

65歳男性、単独。黒岳からの下山で道迷いをして13:20救助要請した。



解説

三大道迷い地形は「下りの尾根分岐」、「急に道が曲がる」、「ピークからの下り」です。

「下りの尾根分岐」が一番多い道迷いの地形といえます。何も考えていないと人は直進してしまう傾向にあるため、尾根分岐で違った尾根に迷い込んでしまいます。常に「尾根分岐は注意！」と思ってください。

次に、多いのは「急に道が曲がる」地形です。特に尾根上を歩いていて、尾根から斜面に道が急に曲がっている場合は、そのまま尾根上を進んでしまいます。最後は、「ピークからの下り」の地形です。この地形は意外と道迷いに多いパターンです。特にピークから進行方向と違った方向に道が曲がっている場合は特に注意が必要です。

今回の事例は、一番多い道迷い事例の一つといえます。下りは常に現在位置確認をしながら進み、尾根分岐では必ず現在位置の確認する癖をつけたいものです。また、落ち葉や霧等の気象条件によってもより道迷いをしやすくなります。

また、単独の場合は行動もより注意しながら進まないで「あれっ？おかしい？」といった場合に後戻りできなくなります。今回の事例を教訓としたいですね。